

ALCOHOL SENSOR

タニタアルコールセンサー

HC-211



ご使用の前に

商品概要	2
安全上のご注意	3
測定上のご注意	4
精度を保つためのお願い	5
各部の名称	6

使いかた

電池を入れる・交換する	7
使い方.1 センサーユニットをセットする	8
使い方.2 センサーのクリーニングをする	10
使い方.3 測定する	12
使い方.4 センサーユニットを交換する	14

必要なとき

こんなときは	16
アフターサービスについて	18
保証書(センサーユニットは含まない。)	19
主な仕様	裏表紙

このたびは、タニタアルコールセンサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また本書は必要なときにすぐに取り出せるよう、大切に保管してください。

商品概要

本製品は、センサーユニットを交換できるモデルです。

HC-211 (本体)



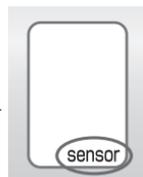
■センサーユニット交換の実施

次のような場合（どちらか早い方）はセンサーユニットを交換してください。

1. 表示部に右図のように「sensor」マークが表示された場合

「sensor」マークは、測定回数500回以上で表示されます。

- * 測定結果がきちんと表示された測定の回数を自動的にカウントします。
- * 測定を途中で中止したり、Errが出た場合はカウントされません。



2. 使用開始から半年を経過した場合

- * 使用回数に関わらずセンサーが劣化しています。
- * この場合は、「sensor」マークは表示しませんのでご注意ください。
- * 本製品はセンサーの特性上、使用開始から半年以上経過または、500回以上測定すると一定の精度を保持できなくなる可能性がありますので、精度の保証は致しかねます。

安全上のご注意

本書では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示で説明しています。その表示と意味をよく理解してから本文をお読みいただき、本器を安全に正しくお使いください。

 <h2>警告</h2> <p>この表示の欄は、誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う恐れのある」内容を表示しています。</p>	 <h2>注意</h2> <p>この表示の欄は、誤った取扱いをすると、「使用者が軽傷を負う恐れまたは物的損害が発生する恐れのある」内容を表示しています。</p>
 <p>禁止</p> <p>してはいけない「禁止」内容です。</p>	 <p>必ず守る</p> <p>必ず守っていただく内容です。</p>
<h3>お願い</h3> <p>製品を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。</p>	<h3>お知らせ</h3> <p>製品の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。</p>

警告



禁止

お酒を飲んだ後の自動車等の運転は、絶対にしないでください。

- ▶ 飲酒運転は法律で禁止されています。
- ▶ お酒を飲んでいても、使い方によっては本製品で検知できない恐れがあります。



禁止

本製品のデータのみで飲酒運転の有無の判断は行わないでください。

- ▶ 本製品の測定データは飲酒の有無を判定するための一つの判断材料としてのみお使いください。使い方や故障などにより、正確な結果が出ない恐れがあるため、本製品のデータのみで飲酒の有無判断は行わないでください。
- ▶ 測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行ってよいが否かの判断に対して、本製品の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。



禁止

本製品を子どもの手の届く場所に置かないでください。

- ▶ 付属のマウスピースを誤飲して怪我をする恐れがあります。
- ▶ 万一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

測定上のご注意

警告



禁止

車両の運転や機械の操作の最中に測定を行わないでください。

▶ 注意が散漫になり、思わぬ事故を起こす恐れがあります。

自動車等の運転中における本製品を使用したことに起因する事故の責任に対して本製品の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。

お願い



必ず守る

マウスピースに強いにおいや汚れがある場合はマウスピースを交換してください。

▶ においや汚れが付着している場合、正しく測定できない恐れがあります。

お知らせ

本製品は呼気中のアルコール濃度を測定するための機器です。

お酒を飲んでいなくても、アルコール成分を含んだ飲食物を摂取した後や強い臭い成分を含んでいる物を口にした後には、センサーが検知することがあります。

例：たばこ オーラルケアグッズ 等

複数の人で一つのマウスピースを使い回さないでください。



禁止

▶ ウィルスに感染する恐れがあります。

▶ 一つの製品を複数の人が使用する場合には、それぞれの人が必ず自分のマウスピースを使用してください。



禁止

測定の際マウスピースをくわえて、口から息を吸い込まないでください。

▶ 誤ってマウスピースを飲み込む恐れがあります。

精度を保つためのお願い

本製品は精密に作られております。故障、誤作動、測定の精度低下を防ぐため、次のことを守ってご使用ください。

取扱いについて



禁止

- 本体の分解や水洗いは絶対に行わないでください。
 - ▶ 故障の原因になります。
- 過度の衝撃や振動を与えないでください。
 - ▶ 故障の原因になります。
- 10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合、2時間以上放置してからご使用ください。
 - ▶ 正しい測定ができない場合があります。

保管について



必ず守る

保管の際は必ずセンサーにセンサーカバーをつけて付属のチャック付きポリ袋に本体を入れてソフトケースに保管してください。

また、次のようなところには絶対に保管しないでください。故障の原因になります。

- 芳香剤、たばこ、スプレー等においの強いところ
- 直射日光の当たるところ
- 暖房器具に近いところ
- 温度や湿度の変化が大きいところ
- 温度が-10℃～+50℃以外のところ（車内などは温度が高くなり、また、寒冷地では温度が低くなりますので絶対に放置しないでください。）
- 湿度が高く、水のかかるようなところ
- ほこりが発生しやすいところ

センサーユニットの交換について



必ず守る

- 必要な時期になりましたらセンサーユニットの交換を必ず行ってください。
 - ▶ センサー交換を行わずに使用された場合、精度の保証は致しかねます。詳しくは「センサーユニットを交換する」を参照してください。（本書P.12参照）

日常のお手入れについて



必ず守る

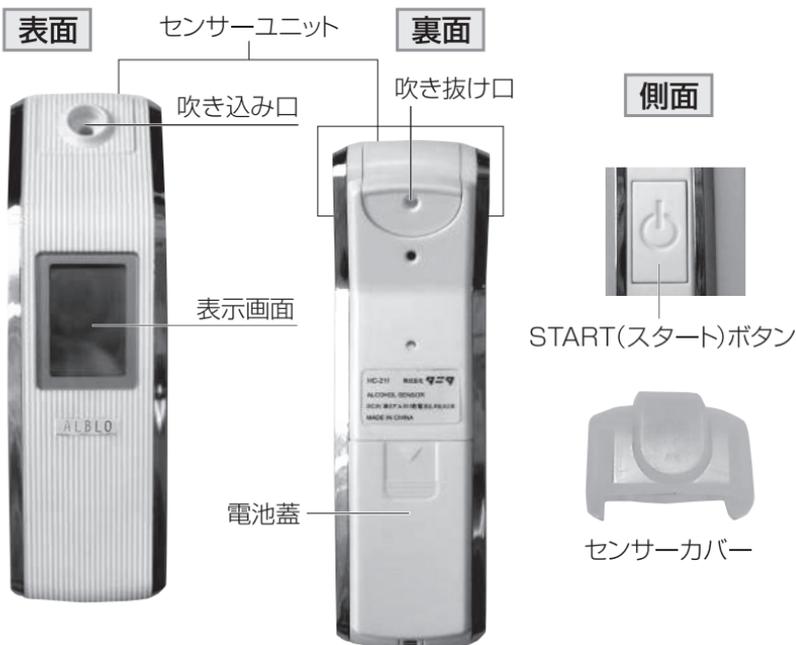
【本体】

- 本体の汚れは水を湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。
 - ▶ 清掃に熱湯や洗剤、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
 - ▶ 薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 本体の吹き込みパイプは適宜清掃してください。
 - ▶ 吹き込みパイプが汚れていたり、水分等が多く付着していると正しく測定できない可能性があります。

【マウスピース】

- ご使用いただく前に、マウスピースに亀裂などの異常がないか確認してください。
 - ▶ 異常がある場合、正しく測定できなくなる恐れがあります。
- マウスピースを洗浄するときは、水洗いしてください。
 - ▶ 熱湯や洗剤、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
 - ▶ 薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼす恐れがあります。

各部の名称



付属品の確認

取扱説明書

マウスピース / 3個

保証書

単3アルカリ乾電池 (LR6) / 2本



センサーカバー

ソフトケース

センサーユニット固定用ネジ

簡易ドライバー

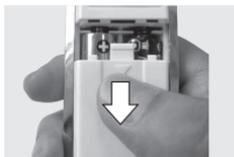
ストラップ



電池を入れる・交換する

表示に  が表示された場合、乾電池が消耗しています。速やかに単3アルカリ乾電池2本と交換してください。

※  表示からさらに乾電池が消耗すると  ボタンを押した後、表示が一度全点滅して消え、測定ができなくなることがあります。



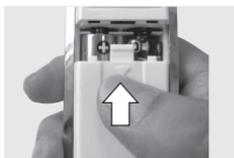
1 本体裏面の電池蓋をはずす

電池蓋をスライドさせてはずします。



2 乾電池を2本とも取り出し、新しい乾電池(単3アルカリ乾電池)を入れる。

※初めてお使いになる時は電池は入っておりません。



3 電池蓋を取り付ける

「カチッ」となります。



必ず守る

- 指定の電池(単3アルカリ乾電池)以外は絶対に使用しないでください。
▶故障の原因になります。
- 電池は \oplus \ominus の方向を正しく入れてください。
▶間違えると故障の原因になります。

お願い

- 古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

お知らせ

- 付属の「お試用乾電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。

センサーユニットをセットする

お願い



必ず守る

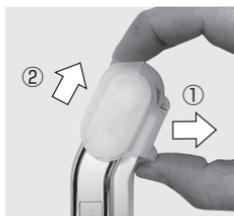
- センサーユニット密閉袋に表記してある有効期限は使用開始までの期限です。
- 有効期限を経過したセンサーユニットは一定の精度を保持できなくなる可能性がありますので精度保証は致しかねます。



1 センサーユニットをセットする

センサーユニットを取り出す

- ①ソフトケース内部のポケットから密閉袋に入っているセンサーユニットを取り出す。



2 センサーカバーを外す

- ①センサーカバー裏側の手がかり部分を上方に持ち上げるようにする。
- ②センサーカバーが開き取り外すことができる。





3 センサーユニットをセットする

① マウスピースをセットする穴部を正面にセンサーユニットのガイドに沿ってスライドさせ端子にしっかり差し込む。



ネジ

② 本体裏側のセンサーユニットを固定するネジをとめる。

※付属品に含まれているネジと簡易ドライバーを使い固定してください。

※ネジを止めないと端子の接触不良の原因になる場合があります。



③ 本器の  ボタンを押す。

④ 「Er1」「Er2」が表示されないことを確認。

このまま測定する場合は「P10 使い方.2 センサーのクリーニングをする」から「P12 使い方.3 測定する」を参照してください。

センサーのクリーニングをする

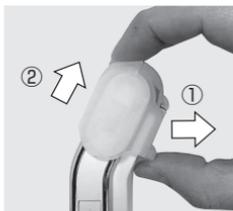
お願い



必ず守る

- 測定の前には必ずセンサーのクリーニングを1回以上行ってください。
 - 特に初めてお使い頂く場合や、長期間保管後にお使い頂く場合には、5回程度、センサーのクリーニングを行ってください。
- ▶クリーニングを行わない場合、正しく測定できません。

1 センサーカバーを外す



- ①センサーカバー裏側の手がかかり部分を上方に持ち上げるようにする。



- ②センサーカバーが開き取り外すことができる。

2 電源ボタンを押す



センサーヒーティング時間判定後、カウントダウンを開始します。

お知らせ

電源ボタンを押すと、ヒーティング時間の自動判定が始まります。下記条件によりヒーティング時間は5秒～20秒の間で自動的に切り替わります。

- ▶電源を入れて初めての測定の時。
- ▶高濃度判定後。
- ▶長時間保管後。



- 3** カウントダウンの最中に
本体を左右へ4～5回振る。
吹き込み口、吹き込みパイプにたまったガスを効率よく排気します。



- 4** 表示画面に「START」が表示されたら
息を吹きかけず、そのまま待つ
表示画面に「Err」が表示され、点滅します。
※ Err 表示した場合、測定回数にはカウントされません。



- 5** **クリーニングが完了。**
「Err」が約15秒間表示し、表示がすべて消えたらクリーニング完了です。
状況に応じて、繰り返しクリーニングを行ってください。

お知らせ

まれに「Err」ではなく周囲の臭いに反応して「0.00」を表示することがありますが、故障ではありません。

使い方.3 測定する

お願い



必ず守る

- 測定の前には必ずセンサーのクリーニングを1回以上行ってください。
- 特に初めてお使い頂く場合や、長期間保管後にお使い頂く場合には、5回程度、センサーのクリーニングを行ってください。
▶クリーニングを行わない場合、正しく測定できません。

警告



禁止

- 車両の運転や機械の操作の最中に測定を行わないでください。
▶注意が散漫になり、思わぬ事故を起こす恐れがあります。

使
い
か
た



1

本器にマウスピースを取り付ける

マウスピースの向き（横から見た場合）

本器 取り付け側 口に かわえる側

マウスピースは取り付け向きを間違わず、しっかりと奥まで差し込んでください。



2

本器の電源ボタンを押す

お知らせ

- 電源ボタンを押すと、ヒーティング時間の自動判定が始まります。下記条件によりヒーティング時間は5秒～20秒の間で自動的に切り替わります。
 - ▶電源を入れて初めての測定の時。
 - ▶高濃度判定後。
 - ▶長時間保管後。



3

ヒーティング時間判定



4

カウントダウンが始まる



5 ピピと音がし、表示に「START」が表示されたら



6 マウスピースを口にくわえ、約5秒間息を吹き込む
「ピピ」と音がするまで息を吹き込んでください。(約5秒間)

途中で吹き込むのをやめた場合、エラーになる可能性があります。



7 測定結果を約15秒間表示
2回点滅します。



8 本器の電源が消える
測定は終了です。

測定終了後は必ず、マウスピースを外しクリーニングをしてセンサーカバーをつけてください。チャック付きポリ袋に本体を入れて、ソフトケースに収納し、保管してください。

お願い

- 本器の息の吹き抜け口を指でふさいだりしないでください。
▶正しく測定できない恐れがあります。

警告

本器は飲酒運転の可否を判定するものではありません。自動車等の運転、機械操作及び危険を伴う作業をするための判断には絶対に使用しないでください。

お知らせ

- 測定範囲は0.00～1.00mg/lです。1.00mg/l以上を検知した場合は、表示に「OVER」が点灯し、「1.00」が点滅表示します。
- 次のような場合、自動的に電源が切れます。
▶測定開始の「START」を表示後、約6秒以内に息を吹き込まなかった場合、「Err」を表示して約15秒後に電源が切れます。

センサーユニットを交換する

HC-211交換用センサーユニットは型式HC-211Sをお使いください。
電源が切れたことを確認し、本器とセンサーユニットを次の手順に従って外してください。または、接続してください。
※濡れた手や汚れた手でコネクターに触れないように十分注意してください。

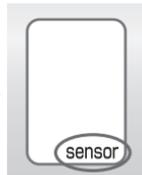
■センサーユニット交換の実施

次のような場合（どちらか早い方）はセンサーユニットを交換してください。

1. 表示部に右図のように「sensor」マークが表示された場合

「sensor」マークは、測定回数500回以上で表示されます。

- * 測定結果がきちんと表示された測定の回数を自動的にカウントします。
- * 測定を途中で中止したり、Errが出た場合はカウントされません。



2. 使用開始から半年を経過した場合

- * 使用回数に関わらずセンサーが劣化しています。
- * この場合は、「sensor」マークは表示しませんのでご注意ください。
- * 本製品はセンサーの特性上、使用開始から半年以上経過または、500回以上測定すると一定の精度を保持できなくなる可能性がありますので、精度の保証は致しかねます。

アルコールセンサーHC211専用のセンサーユニット以外は使用しないでください。



必ず守る

- ▶ 他のセンサーユニットを接続すると「Er2」が表示され測定できません。
- ▶ HC-211は白色です。本器の色とセンサーユニットの色は同じ色をご使用ください。

センサーユニットは正しく本器に接続してください。

- ▶ 正しく接続されていない場合「Er1」が表示されます。



ネジ

1 センサーユニットを外す場合

① マウスピースを外す。

② 本体裏側のセンサーユニット固定用ネジを外す。

※ネジの着脱には付属の簡易ドライバーをご使用ください。ネジをなくさないように注意してください。



③センサーユニットを引き抜く。

⚠注意



必ず守る

センサーユニットはコネクタの接続を確保するため、硬い設計になっています。このユニットの着脱時には、指などケガをしないようにご注意ください。



2 センサーユニットをセットする場合

①マウスピースをセットする穴部を正面にセンサーユニットのガイドに沿ってスライドさせ端子にしっかり差し込む。

②本体裏側のセンサーユニットを固定するネジをとめる。

※ネジを止めないと端子の接触不良の原因になる場合があります。

③本器の⏻ボタンを押す。



ネジ



④「Er1」「Er2」が表示されないことを確認。

このまま測定する場合は「P10 使い方.2 センサーのクリーニングをする」から「P12 使い方.3 測定する」を参照してください。

こんなときは

現象

ご確認ください

判定が強めにでる

- 口の中にアルコール成分が残っていませんか？
▶うがいをして再度はかってください。
- 飲食直後、喫煙、オーラルケア使用後にはかかっていませんか？
▶飲食後20分以上経過してからはかってください。
▶うがいをして再度はかってください。
- 製品に強いにおいがしみついていませんか？
▶ボタンを押し、息を吹きかけず、センサーのクリーニングをしてください。(本書「使い方.1 センサーのクリーニングをする」参照)
- においがある場所ではかかっていませんか？
▶場所を変えてはかってください。
- マウスピースににおいがしみついていませんか？
▶マウスピースを水洗いし、よく乾かしてから再度はかってください。又は新しいマウスピースと交換。

判定が弱めにでる

- 約5秒間、きちんと息を吹き込みましたか？
▶息を吹き込む時は、約5秒間しっかりと吹き込んでください。
- マウスピースが奥まで差し込まれていますか？
▶マウスピースをもう一度奥まで差し込んでからかしてください。
- 風がある場所ではかかっていませんか？
▶場所を変えてはかってください。

判定が一致しない

- 風がある場所ではかかっていませんか？
▶場所を変えてはかってください。
- においがある場所ではかかっていませんか？
▶場所を変えてはかってください。



果が表示しない

が表示されるだけで、測定結果が表示しない

- 正しく保管していますか？
▶保管方法をご確認下さい。(本書「保管について」参照)
- 製品に強いにおいがしみついていませんか？
▶ボタンを押し、息を吹きかけず、センサーのクリーニングをしてください。(本書「使い方.1 センサーのクリーニングをする」参照)
▶製品を4～5回振ってください。
- マウスピースに強いにおいが染みついていませんか？
▶マウスピースを水洗いし、よく乾かしてから再度はかってください。又は新しいマウスピースと交換してください。
- においがある場所ではかかっていませんか？
▶場所を変えてはかってください。
- 風がある場所ではかかっていませんか？
▶場所を変えてはかってください。

現象

ご確認ください



が表示
される。

- センサーユニットが正しく本器に接続されていますか？
 - ▶ 「センサーユニットを交換する」をご確認下さい。（本書「センサーユニットを交換する」参照）



が表示
される。

- 違う種類のセンサーユニットを本器に接続していませんか？
 - ▶ 種類のあったセンサーユニットを接続してください。
 - ▶ HC-211は白色です。本器の色とセンサーユニットの色は同じ色をご使用ください。

飲酒していないのに
飲酒した判定が出る

- 飲食直後、喫煙、オーラルケア使用後にはかっていませんか？
 - ▶ 飲食後20分以上経過してからはかってください。
 - ▶ うがいをして再度はかってください。
- においがある場所ではかっていませんか？
 - ▶ 場所を変えてはかってください。
- 製品や吹き込み口、吹き込みパイプ、マウスピースの内部にお酒のにおいが溜まっていませんか？
 - ▶ 電源ボタンを押し、息を吹きかけず3回以上、センサーのクリーニングをしてください。（本書「使い方.1 センサーのクリーニングをする」参照）
 - ▶ マウスピースをきれいに水洗いし、よくかわかしてからはかってください。
 - ▶ 本体を4～5回振ってください。
- 体内で作られる発酵ガスが息に含まれ、センサーが反応することがあります。

電源ボタンを押しても何も表示しない。または表示が全点灯しすぐに消える

- 乾電池が消耗していませんか？
 - ▶ 乾電池を新しいものと交換してください。
- 乾電池が逆に入っていませんか？
 - ▶ 乾電池を正しく取りつけてください。
- 乾電池の電極にゴミがついていませんか？
 - ▶ 電極のゴミを取り除いてください。

アフターサービスについて

1. 保証書について

保証書は取扱説明書に付いておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、付属品は保証対象外とさせていただきます。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、保証書を添えて商品をお送りください。
- 保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3. ご不明な点はお客様サービス相談室にお問い合わせください。

○仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室に連絡の上、商品と保証書をお送りください。
 3. ご贈答品等で本保証書に必要な事項が記入していない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
 4. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ. 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ. お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ハ. 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 5. 保証書の提示がない場合
 6. 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
6. 保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明な場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

保 証 書

販売店様へ

ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、販売店様欄に捺印）をご記入の上、お客様にお渡しください。

お客様へ

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

お客様の個人情報は、修理完了品の発送に使用させていただき、修理品とともにご返却いたします。この間、お客様の個人情報は第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき責任を持って管理いたします。

品 名	アルコールセンサー HC-211本体		
保 証 期 間	本体（センサーユニットは含まない。） お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お 客 様	ご住所	様	
	お名前		
	電 話		
販 売 店	住所・店名	(印)	
	電 話		

主な仕様

製品名	アルコールセンサー（センサーユニット交換モデル）
型式	HC-211
検知方式	半導体ガスセンサー
測定対象	呼気中アルコール濃度
センサーユニット交換時期	500回測定 または、使用開始から半年経過した場合（どちらか早い方）
表示方法	LCD表示
測定範囲	0.00～1.00mg/L
最小単位	0.01mg/L（0.05mg/L未满是0.00mg/L表示）
電源	DC3V 単3アルカリ乾電池（LR6）×2本
消費電流	OFF時：平均150μA以下 ON時：平均200mA以下
電池寿命	約6ヵ月（1日1回測定した場合）
使用温湿度範囲	5～35℃ 30～80%（結露なきこと）
保管温湿度範囲	-10～50℃ 10～90%（結露なきこと）
外形寸法	D145×W42×H24mm（突起部分も含む）
質量	約130g（電池含む）
主な材質	本体：ABS レンズ：PMMA マウスピース：PP センサーカバー：PP
生産国	中国

株式会社 **タニタ**

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

お問い合わせ先

フリーダイヤル  **0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。

携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル  **0570-783551**

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～18:00（土・日・祝祭日は除く）

修理依頼

タニタサービスセンター 受付時間 / 9:00～17:00
0187-66-2168（土・日・祝祭日・年末年始は除く）

©2010-2024 TANITA Corporation

HC2117601(7)-2407SA